支援部ネット

研究支援部

第６号

すながわ高等支援学校　令和２年度

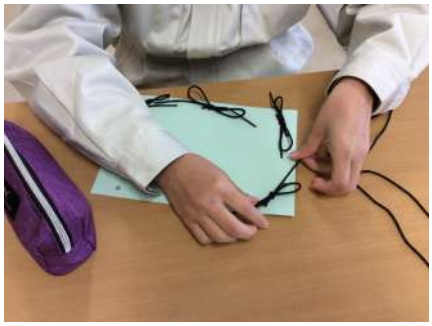
初めに

この支援部ネットでは、支援教育に関する情報や校内での取り組みなどをお伝えしていきます。月に１回程度いろいろな情報を発信していきますので、ご活用いただけたらと思います。今回は、１年生が現場実習前に行った作業トレーニングと、現場実習報告会前に行った「お口のトレーニング」についてお知らせします。

リボン結び

決められた位置にひもを通し、リボン結びにする練習をしました。靴ひもやエプロンのひもなど、普段の生活の中でもリボン結びをする機会がたくさんありますが、中にはリボン結びが苦手な生徒も見受けられます。今回のトレーニングでは、「正しい位置に早く」結ぶことを意識して練習しました。

生徒たちの声
- 靴ひもならできるけど、いつもと違うひもだと難しかった。
- りぼん結びが縦になってしまうので難しかった。



シール貼り

バーコードの数字を確認し、決められた位置にシールを貼る練習をしました。生徒たちは真剣に取り組んでおり、間違えて貼ってしまったときには、自分で報告・連絡・相談ができていました。

生徒たちの声
- 現場実習で、商品にシールを貼る作業があったので、丁寧に貼る練習になってよかった。
- １個ずつ慎重に確認しながら作業することができた。

請求書綴じ

口頭で指示された手順どおりに請求書を重ね、ひもで綴じて冊子を作る作業を練習しました。口頭での指示を聞き取ることが難しい生徒もいましたが、見本を見るとわかりやすいということに気づき、自ら見本を確認して作業を進めることができていました。

のし巻き

口頭で指示されたとおりにのしを巻き、テープで止める作業を練習しました。生徒たちはテープを貼る位置をよく確認し、しわがないように丁寧に作業することができていました。

生徒たちの声　・現場実習でタオルにのしを巻く作業があったので、練習していてよかった。

初めての現場実習前に作業トレーニングを重ねたことで、生徒たちは現場実習での作業をイメージすることができました。実習前の不安を少しでも解消することができたようです。

お口のトレーニング

現場実習後は、実習を振り返り、たくさんの人の前で報告する現場実習報告会があります。報告会ではっきり・ゆっくり・大きな声で話せることを目標に、「お口のトレーニング」に取り組みました。

参考:なるほど呼吸学―あいうべ体操で息育
著　今井一彰

- あいうべ体操　(口元の筋力を高める)
- 早口ことば　(発話の明瞭度を上げる)
- 声のものさし　(適切な声の大きさの理解を促す)
- 声のスピード　(適切な会話の速さの理解を促す)

報告会では、生徒たちは自信を持って発表することができていました。
これらの取り組みはすぐに結果が出るものではなく、継続して行うことが大切です。今後も引き続き、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思います。